

ゆきかける必要がある。

(八) それ以外の一般の未組込大衆は、我々戦線統一運動が開始されたからといつて、それ  
を契機に、我々の確信が入つて来るやうなことは、余りないと感心し、一般の未組込大衆は  
戦線統一といつたやうな問題を契機に組織に入つて来る。の心はよく、もつと、自分達  
に直接の問題を契機に組織の必要を感ずるものだ。しかし、あつちの未組込労働者大衆に  
我々の戦線統一運動をアジテロクシ、いま、強たふ、極めてたよりにある新同盟が依り川よ  
うにしてゐるのだ」といふことをハッキリ印象づけおくことは、將來の組織化のため  
非常に有意である。

(九) 未組込大衆が参加した場合も、それが大工場、大経営の従業員であつたらう、表面に  
出さぬやうに注意することを必要だ。

(十) 附言——後来、各組合で、獨立にやつて来た、『未組込の組織化』の運動を、今度  
新同盟結成準備会加盟の各面幹が協力してやることは、非常に必要のことである。但しこ  
の場合、戦線統一問題を表面に持ち出す必要はなく、各未組込の当面の経済的問題を  
り上げて、おん／＼組織化して行くべきである。

## 全口的組合会議結成 運動に関する基本方針

(一) 我々の当面の戦線統一運動が完成される。ても、我々には、戦線統一運動に断絶して、尚  
ほ、二つの事業が残されてゐる。一つは、右翼組合の大衆との提携——下からの統一——の  
事業であり、他は、全口的組合会を結成の事業である。

(二) 我々の組織的方針の組合を組織するに多量の、全口的組合会を結成する。これは、我々  
にとつて、当面非常な必要事項であるが、しかしこの事業の完成は、決して容易なこと  
ではない。

(三) 我々としては、当面、せう、各地方(関東、関西、中部等)に於て、地方的組合会  
の組織(もしくは拡大強化)し、その地方的組合会試の運動を通じて、各組合の提携を強  
化し、やがてこれを全口的組合会にする程度まで行く方針を取るべきであると思ふ。

(四) この方針に従つて、当面最も問題になるのは、関西地方に於ける『関西地方労働組合会  
』の結成である。我々は、こゝから、一致協力して関西地方労働組合会を結成のために努  
力する必要があると思ふのである。

(五) 更に、関西地方組合会議が結成されたら、各地方の組合会々の連絡を完全にするため  
に連絡委員会を設け全口的組合会々へう一步前進をはかるやうにする。こゝが必要だと思ふの  
である。

(六) 各地方の組合会々の拡大強化に関する具体的方針は、地方協や委員会に於て協定  
すべきと思ふ。